

現場の意思疎通大事に

平田建設 安全大会

【帯広】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は20日、土幌町総合研修センターで2023年度安全大会を開催した。協力会社を含め91人が参加。労働災害や交通安全に関する講演を通じ、本年度の無事故・無災害を誓った。

長谷川社長(写真)は24年4月から本格始動となる働き方改革について「残業時間短縮など3年間対応してきた。これからは集大成として残業時間減少、4週8休を確実に進める」として協力を求めた。

また、労災防止に向けて「目で現場を見てリスクアセスメントを徹底してほしい。そのためには現場のコミュニケーションが大事。何でも言える環境をつくり」と呼びかけた。

このあと、帯広労働基準の田中達徳安全衛生課長が「労働災害防止につい

て、帯広警察署土幌駐在所の伊藤和将主任が「業務運転中の事故を防げ」と題し講演。現場における基本的な事項の順守や、運転中の携帯電話使用禁止の徹底などを訴えた。



行役員土木部長が「現場業務全般への取組」として、朝礼などでの積極的な情報の共有や情報を共有しやすい環境づくりなどを求めた。最後に、土木部の嶋島克宗氏が安全宣言。関係法令の順守やコミュニケーションによる業務内容の確認、路面状況にに応じた安全運転などを通じて、無事故・無災害の達成と働き方改革の実行を誓った。

行役員土木部長が「現場業務全般への取組」として、朝礼などでの積極的な情報の共有や情報を共有しやすい環境づくりなどを求めた。

最後に、土木部の嶋島克宗氏が安全宣言。関係法令の順守やコミュニケーションによる業務内容の確認、路面状況にに応じた安全運転などを通じて、無事故・無災害の達成と働き方改革の実行を誓った。

休業災ゼロ目指し 大会で意識高揚

平田建設

【帯広】平田建設(本社・土幌)は20日、土幌町総合研修センターで安全大会を開いた。協力会社を含む91人が休業災ゼロの年度目標達成に向け

意識を高めた(写真)。長谷川雅毅社長は、働き方改革に理解を求めながら、「現場第一主義を徹底し職員間の連携を円滑に」と呼び掛けた。

帯広労働基準の田中達徳安全衛生課長と、帯広警察署土幌駐在所の伊藤和



将主任がそれぞれ安全講話した。

担当役員が現場での具体的な取り組みを説明した後、土木部の嶋島克宗さんが安全宣言。大会後、終末処理場近くで毎年恒例となるサクラの植樹をした。